NEWS

「出前講座」開催報告

2025年2月、京都産業大学附属中学校保健委員会様のご依頼により、保健委員の皆さんに「きずの手当て」について講義と実習を行いました。

講義では、きずの種類や応急手当の方法、「貼りっぱなしの絆創膏」の正しい使い方、病院を受診すべきかどうかの判断基準など、日常の身近な「きず」についての疑問についてお話ししました。

後半は、ガーゼと包帯を使った手当の仕方の説明後、膝と手にけがをしたという想定で、ガーゼと包帯を使い処置をする実習を、2人1組で行っていただきました。最初は戸惑いながらの作業でしたが、皆さん真剣に取り組み、最後にはお互いにしっかり処置できるようになりました。

また、実習後には、豚の皮膚を使った縫合（きずを縫う）を見学いただきました。



実施日	2025年2月12日（水）14:25～15:15
担当	形成外科　診療科長　海透修子
対象	京都産業大学附属中学校 中学1～3年生 保健委員会
テーマ	きずの手当について

ABOUT

出前講座とは

京都医療センターでは、「この街の医療をささえる病院」として、当院の医師・職員が皆さまの地域に出向き、医療や健康に関する「知ってよかった！」をお伝えする講座を行っています。現在、15以上の診療科による、約55の講座からお選びいただけます。

お申し込みについて

対象エリア	京都市・京都府南部・枚方市など近隣地域
派遣講師	医師・職員
会場	開催者様のご指定会場
開催日時	土日祝も含めて可能な限り調整いたします
講演時間	1時間以内（質疑応答含む）
派遣料	無料 （交通費など一切不要です。ただし、会場準備にかかる経費等はご負担の程お願いいたします。）

講師派遣について



などが主催する団体 **20名様以上で開催いただけます！**

出前講座の詳細
お申し込みはこちらから

今号の表紙　キリンの首の長さは「頭頸部」を連想させ、「頭頸部」を意識することで早期発見や適切な治療を促し健康的な生活を送ることの重要性を示しています。



独立行政法人国立病院機構
京都医療センター
National Hospital Organization Kyoto Medical Center

発行元
うづらだより 第162号　2025 Spring
独立行政法人国立病院機構 京都医療センター 広報戦略室
〒612-8555 京都市伏見区深草向畑町1-1　TEL：075-641-9161（代表）　FAX：075-643-4325

※掲載内容は発行時点の情報です。 2025.04 初版 / 2026.04 改訂

京都医療センター 広報誌

うづらだより



独立行政法人国立病院機構 京都医療センター



\ 京都医療センターさん、これ気になります /

うづらトピックス



このコーナーでは、毎回身近な病気や医療をテーマに解説します。

今回のテーマ

頭頸部がん

頭頸部がんとはどういう病気でしょうか？

頭頸部がんは、脳を除く頭部や頸部（首）で、以下の部位に発生するがんの総称です。

- **口腔（こうくう）**
  舌・歯茎などの口の中
- **咽頭（いんとう）**
  鼻や口の奥、食道の入り口など
- **喉頭（こうとう）**
  声帯やその周辺
- **鼻・副鼻腔（ふくびくう）**
  鼻腔やその周辺
- **唾液腺**
  唾液を分泌する腺

代表的な症状



声のかすれ（喉頭・下咽頭がん）



喉や口内の痛み・違和感・しみる



首（リンパ節など）の腫れ

CHECK 頭頸部がんの主な原因

頭頸部がんの主な原因としては、次のような要素が挙げられます。

- **喫煙**：タバコの煙に含まれる有害物質ががんを引き起こすことが知られています。
- **飲酒**：過度なアルコールが体内で分解されてできる物質が発がんのリスクを高めます。
  飲酒で赤ら顔になる人は特にリスクが高まります。
- **ヒトパピローマウイルス（HPV）**：特に咽頭がんの一部の発がんに関連しています。

先生からのアドバイス　頭頸部がんが疑われたら・・・・

頭頸部がんは初期であれば、小侵襲手術による治療が可能です。進行癌でも手術・放射線や抗がん剤の組み合わせにより治療成績の向上が報告されています。近年、光免疫療法や咽頭がんに対するロボット手術など新たな治療法も開発されています。飲酒・喫煙歴があり上記症状がある時や頭頸部がんと診断されたたら頭頸部がん専門医を受診してください。

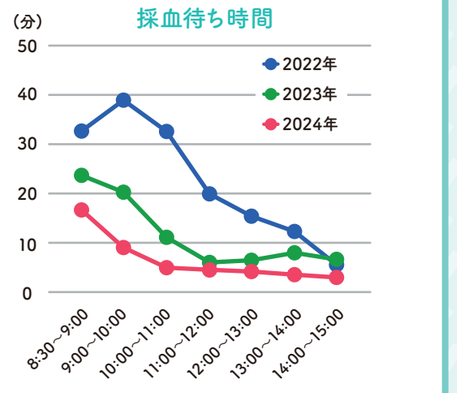


頭頸部外科診療科長
安里 亮

ピックアップニュース

採血の時間が短くなりました

２階採血室では、2024年に新たに採血看護師を採用し、採血業務の専任化を図りました。これにより、作業の効率化や技術の向上が進み、患者さんの採血の待ち時間を短くすることができました。
2024年には、混雑のピークである8時30分から9時までの待ち時間は、2022年の約半分にまで短縮し、9時以降もスムーズな採血が実施できるようになりました。
今後も、患者さんのご負担を軽減できるよう、採血看護師の教育や人員配置の最適化を進めるとともに、自動化技術やシステムの導入も検討してまいります。



薬剤師がお薬の疑問を解決！

お薬トリビア

薬剤部　辰己 晃造



お薬を飲んでいて疑問に思うことはありませんか？患者さんからの「よくある質問」についてQ&Aでお答えします！

Q 家族が風邪気味です。以前、私が病院でもらった薬が余っているので飲ませても大丈夫ですか？ 症状は同じです。

A 使用は控えてください。

主な理由

- 病院で処方されるお薬は、症状の他に、年齢や体重などを考慮されている場合があります。
  また、症状が同じ場合でも、原因が異なる場合は別のお薬が選択されることもあります。
- 同じ性別・体格の方でも、身体の状態（腎臓や肝臓の機能）によっても、お薬の種類や量が変わることがあります。



次回のお薬トリビアも「よく質問があること」についてお届けします

\ シリーズINTERVIEW / Personality 岸本 香織さん

FM845「カラダ元気」出演報告

過去の放送はこちらから

FM845 京都リビングエフエム
毎月最終火曜日 14:05～14:30 放送

今後の放送予定（終了しました）		
2025.4.22	院長	川端 浩
2025.5.27	栄養管理室長	上ノ町 かおり
2025.6.24	眼科診療科長	浅川 卓也

2025.3.25	理学療法士長	森 将貴
「リハビリテーション医療の今と昔」		
1965年に理学療法、作業療法士法が制定されました。当時をふりかえり、現在との違いについてお話ししました。		

2025.2.25	乳腺外科	山賀 郁
「乳がんの治療・手術について」		
乳がんの治療法や最新の手術、乳房再建の選択肢について分かりやすくお話ししました。		

2025.1.28	診療放射線技師長	川北 欣弘
「放射線検査について」		
X線やCT、MRIなどの検査の仕組みや特徴、被ばくの安全性について詳しくお話ししました。		